

子ども支援教育部会

1. 研究課題

通常学級における児童生徒のニーズに応える教育的支援

2. 討議の柱（各分科会）

- (1) 通常学級における個別の児童生徒への支援
- (2) 通常学級における集団の中での児童生徒への支援
- (3) 通常学級における児童生徒を支援する連携

3. 研究協議会時の交流体制及び運営体制

(1) 討議の方法

前半（第1部）は、講演会を行い、研究課題への理解や研修を深める。

後半（第2部）は、各分科会のキーワードをもとに作成したレポートの交流を小グループで行い、研修を深める。

【講演会】

講師	講演会テーマ
北：木村 絵梨 氏 (言語聴覚士)	気になる子への関わり 方のヒント
南：小笠原輝幸 氏 (スクールソーシャルワーカー)	不登校支援について

※内容は若干変更となる場合があります

(2) 分科会の構成

分科会	部会員人数	
	北：108名	南：131名
第1分科会	32名	46名
第2分科会	32名	52名
第3分科会	44名	33名

※分科会の所属グループについては、7月上旬、部会ホームページを参照してください

(3) 運営体制

①会場

北：石狩市立双葉小学校

南：千歳市立北陽小学校

②当日の日程

13:30～13:35 説明（全体会）

13:35～14:45 講演会

14:45～15:00 休憩

15:00～16:10 レポート交流（分科会）

16:10～16:20 アンケート記入

16:20～16:40 整理委員会

③当日の役割分担

駐車場	各会場3名程度
受付	各会場3名程度
教室準備	部会役員

(4) レポートの扱い、部数、形式

①実践交流レポートの作成について

個人で、必ず1部作成してください。A4版の両面印刷で、部数は各所属分科会のグループ人数+5部です。左横に2穴を開けて、提出してください。

②形式について

詳細は部会だよりでお知らせするとともに、テンプレートを部会ホームページにも掲載しますのでご覧ください。

4. その他

7月上旬、8月下旬に部会だよりを発行する予定です。研究協議会に向けたお知らせを掲載しますので、部会ホームページと合わせてご確認ください。

(文責 太田 亜弥)